



那古野一丁目地区・ 景観まちニュース

那古野一丁目地区 防災訓練のご案内

令和4年4月10日（日）午前10時～

この那古野一丁目地区は、江戸から昭和・平成・令和へと時代が移り変わる中で、今でも人情味があふれ、落ち着いた町並みが大きな魅力となっています。

この魅力的な町並みは一方で、江戸時代の大火後に四間道が整備された歴史が物語るように何度も火災に見舞われてきています。そこで、那古野一丁目地区の町内会では、いざという時に備えて、防災訓練を開催することとしました。

当日は、実際に消火器を使用する訓練を予定しています。普段なかなか使用する機会のない消火器について、この機会にぜひ使い方を確認してみてください。
みなさんのご参加をお待ちしています！

詳細について

日時：令和4年4月10日（日）

午前10時～

場所：ご本坊南側駐車場

内容：地域と飲食店の受付訓練

消火器の使い方

お願い：町内会長は消火器を

お持ちください。

※雨天の場合は中止です。

毎日のチェックが大切！

火災予防は、みなさんの普段からの心掛けが大事です。地域の歴史を守るため、みなさんの大切な我家やお店を守るため、毎日チェックしましょう。

チェック項目

- ガス元栓
- 電気コンセント
- 電気スイッチ
- レンジ・フード
- 灰皿
- 戸締り
- お店・我家の周囲の可燃物



屋根神様と子守地蔵尊 知っていますか？

前号でも登場した屋根神様と子守地蔵尊。この地域のことが紹介される際に、四間道から一本入った通りにあり、ご存知の方も多いかと思いますが、改めてここで紹介します。

屋根神様

屋根神様は、名古屋市内及び西区で多く現存し、津島（疫病除けの神様）・秋葉（火難除けの神様）・熱田（戦勝祈願の神様）祭る場合が多くなっています。この屋根神様は、子守地蔵尊へとつながる閑所の入口にあり、毎月1日と15日に津島神社、秋葉神社、熱田神宮などと書かれた提灯を飾り、供えをして祀られます。



子守地蔵尊

「宝永7年（1710）」「円城童子」の刻銘のあり、その名にちなみ子どもの疫病除けに御利益があるといわれています。日常的には路地に暮らす人々が掃除をしたり生花を供えるなどお世話をしています。

毎年8月24日に祭礼である地蔵盆が行われ、提灯や紙の灯籠、幔幕（まんまく）などが取りつけられ、夕方になると近所のみなさんがお参りに集まります。



景観まちづくり推進委員会の活動を応援してくれる 店舗・企業さんを募集しています！！

景観協定は10年間効力があり、地区の住民が中心となって景観まち（景観まちづくり）推進委員会を組織し、景観や住環境を守り育てる活動を進めていきます。この活動に賛同いただける店舗や企業さんからの協賛金を募集しています。

協賛金は、景観まち推進委員会が行うニュースの発行、事前協議をはじめとする運営資金に活用します。賛同していただける店舗や企業さんには特典もあります！

少しでも興味を持ってくださった方は、事務局までぜひご連絡ください。

協賛金：101万円/年

特典：①ニュースで店舗・企業さんの紹介記事を掲載

②ニュースにバナー広告掲載

③ホームページ（今年度作成予定）上でのバナー広告掲載

④景観まち推進委員会のロゴ入りステッカー